

建築心理学演習課題

まちなかベンチのデザイン

信州大学大学院 理工学系研究科 建築学専攻

課題内容

- 須坂市の歴史的市街区に求められるベンチについて考える。
 - 地域のニーズを配慮した上で、適切な配置を試みる。
 - 敷地選びは自由に進めて良い。
 - 設置期間は5年を基本とする。
- 取組みに際しては、3人のチームを5つ編成する。
- Op: 河東(かとう)線記念公園

2014年度の成果



スケジュール

時期	内容
7月下旬	現地見学および調査
10月	班ごとに作業・エスキス@週1
11月	↓中間報告@しらふじ
12月	プレゼンテーション@しらふじ
1月	ベンチの図面準備・発注
2月	ベンチの納品



スケジュール

時期	内容
7月下旬	現地見学および調査
10月	班ごとに作業・エスキス@週1
11月	↓中間報告@しらふじ
12月	プレゼンテーション@しらふじ
1月	ベンチの図面準備・発注
2月	ベンチの納品



須坂市ベンチ計画

信州大学大学院 修士1年

石井伸幸

妹尾真麻

福島由華

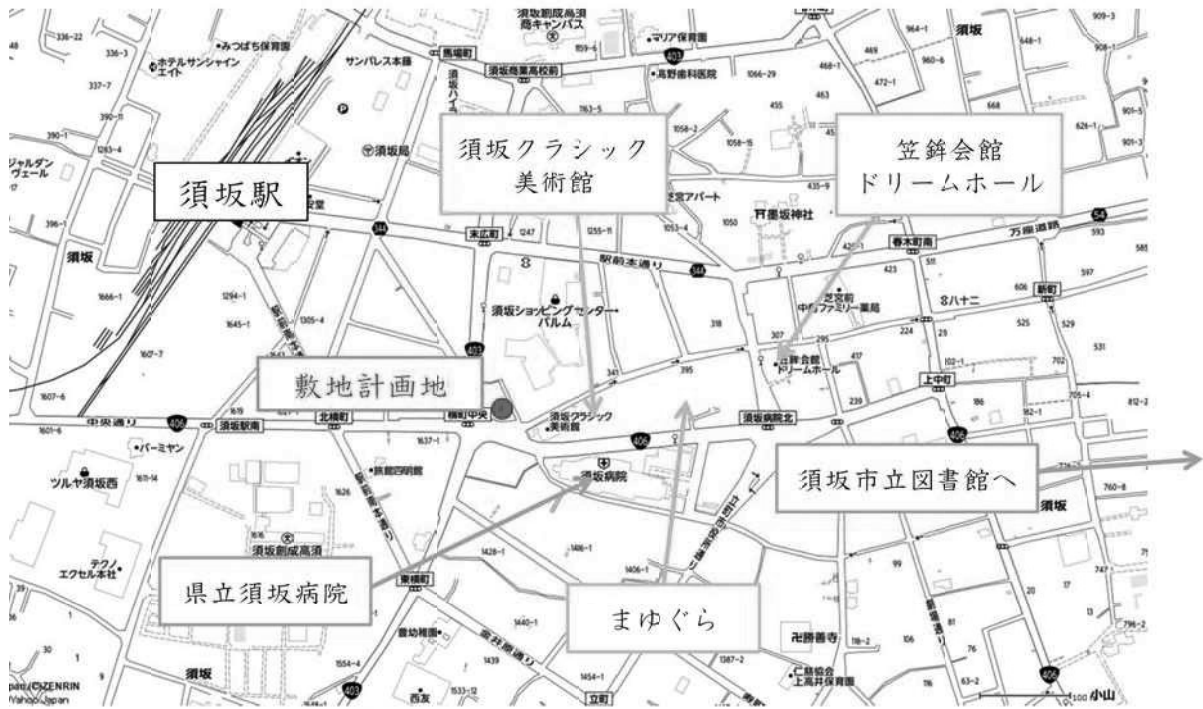
敷地



敷地計画地

横町中央交差点前
県立須坂病院むかい

敷地調査



周辺には市民が利用する県立須坂病院や市立図書館、また、観光客が多く訪れる須坂クラシック美術館、まゆぐら、笠鉾会館などが立地する



面している国道は須坂市の中央通りであり、市民が生活動線に使用している道であると同時に、観光客が訪れる道であるということがいえる

そこで、須坂に住む市民だけではなく
訪れる観光客が楽しみながら須坂を感じることができるベンチ

かつ

市の玄関口ともいえる敷地計画地にシンボルとして
モニュメント性のあるベンチ

以上のようなベンチを提案する

今回、私たちは須坂市の中央通りに須坂市を象徴するシンボルのひとつ
「市章」を用いたペンチ計画をおこなった



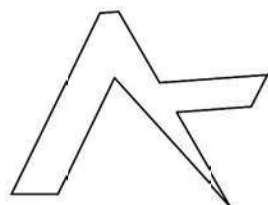
須坂市の市章（須坂市HP抜粋）

須坂市の市章は亀の甲を須坂の「ス」の文字で表わし
須坂の歴史と将来への発展を意味する



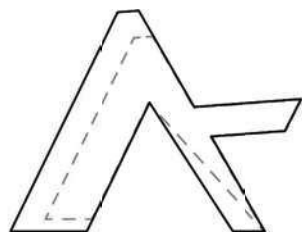


ダイヤグラム



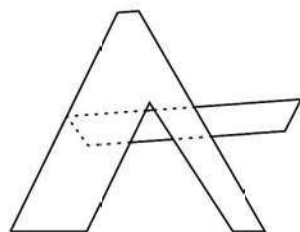
市章をトレースした形

ダイヤグラム

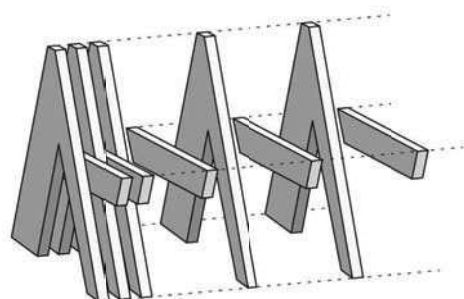


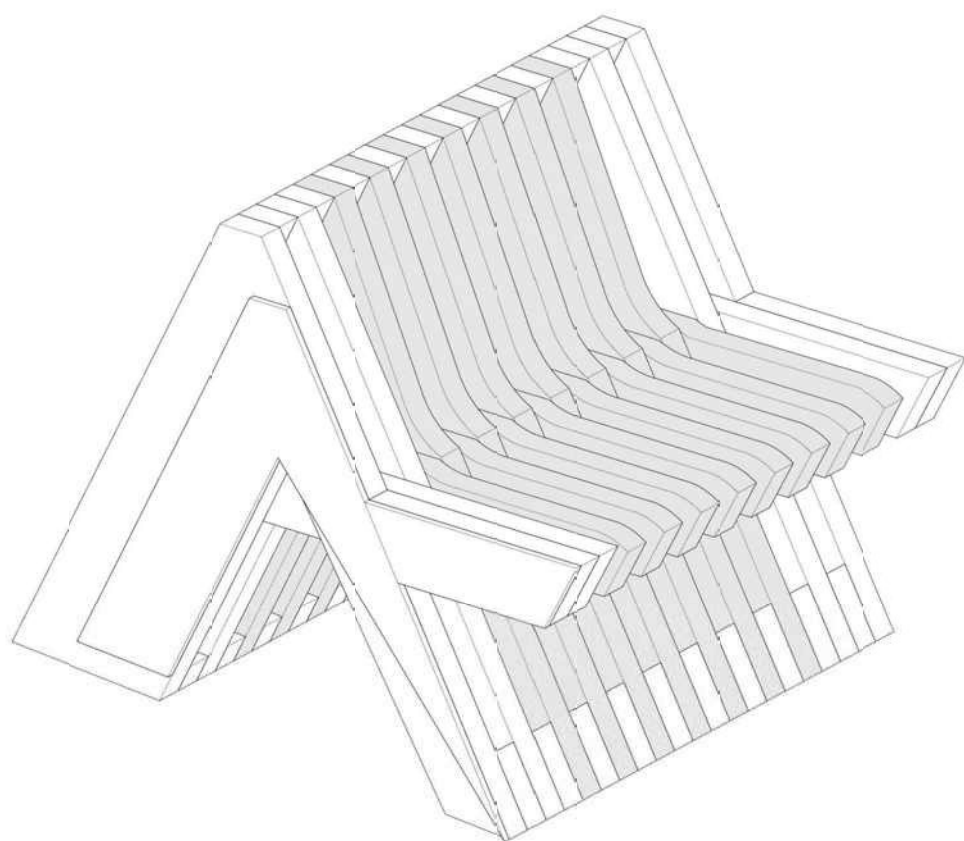
強度を出すための肉付け

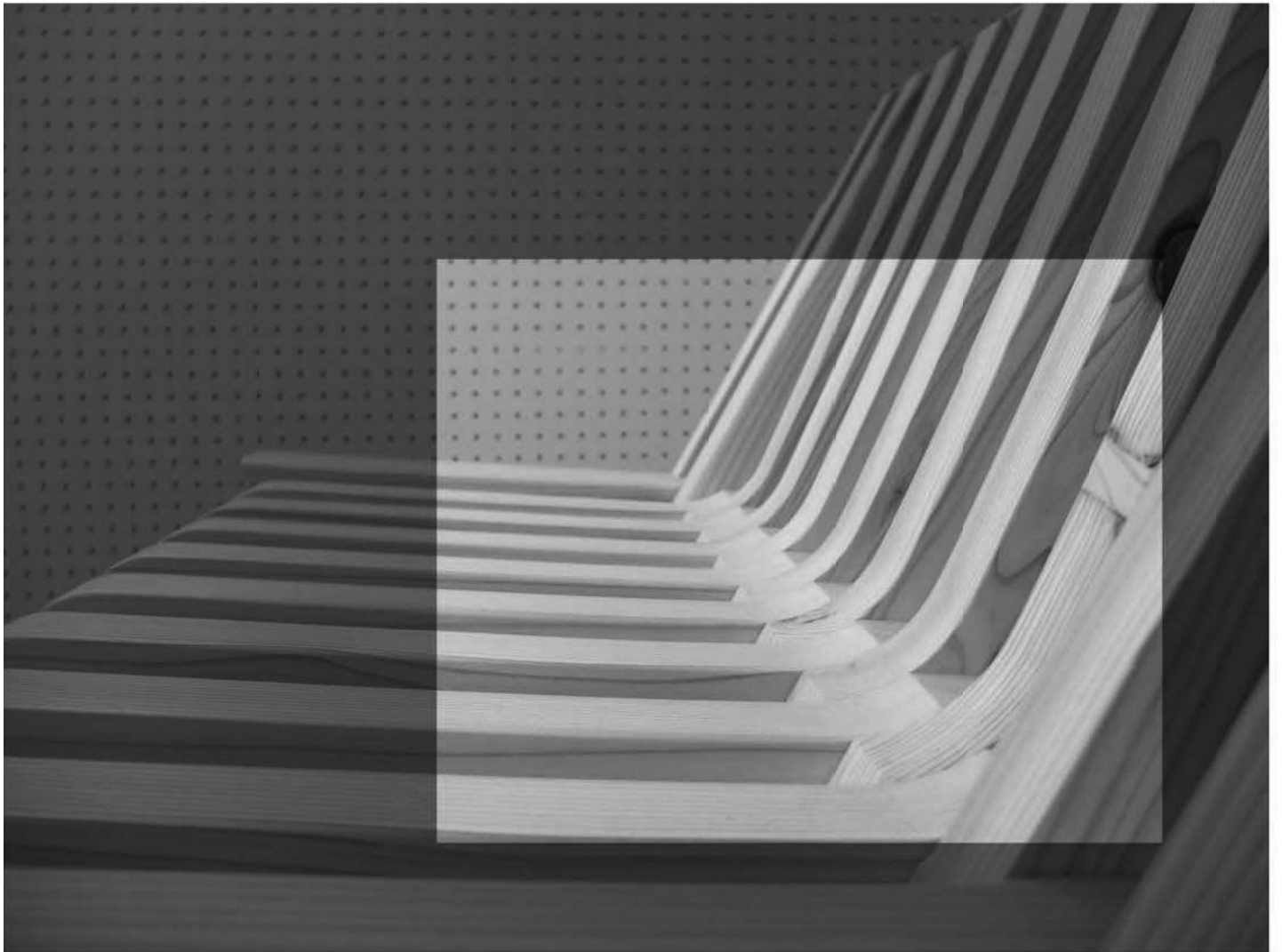
ダイアグラム



板材を積層させる

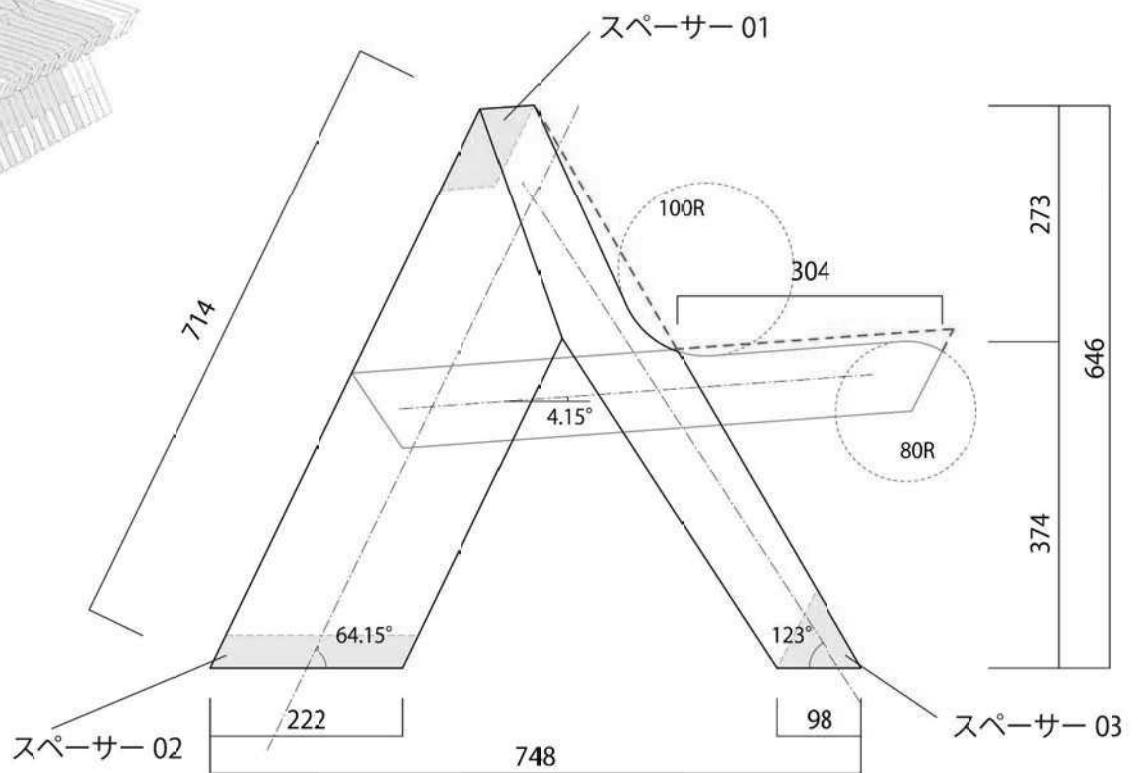




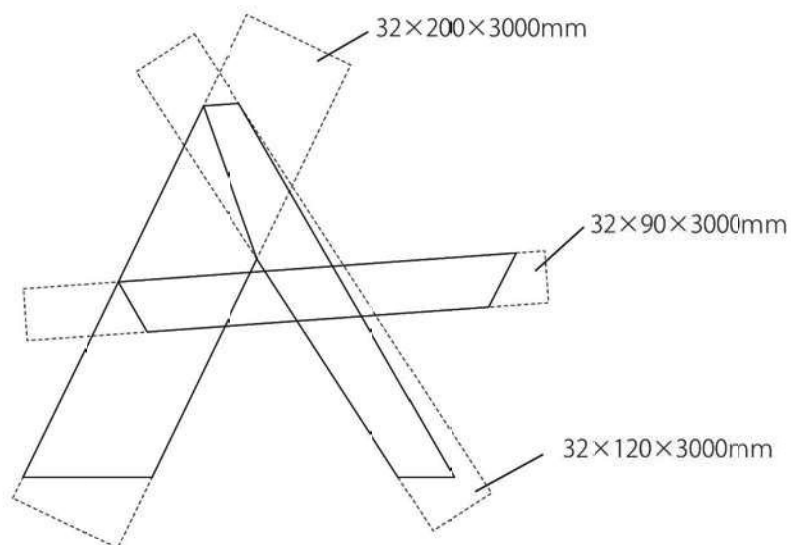




座面先端を面取り (80R)



各部材の取り出し



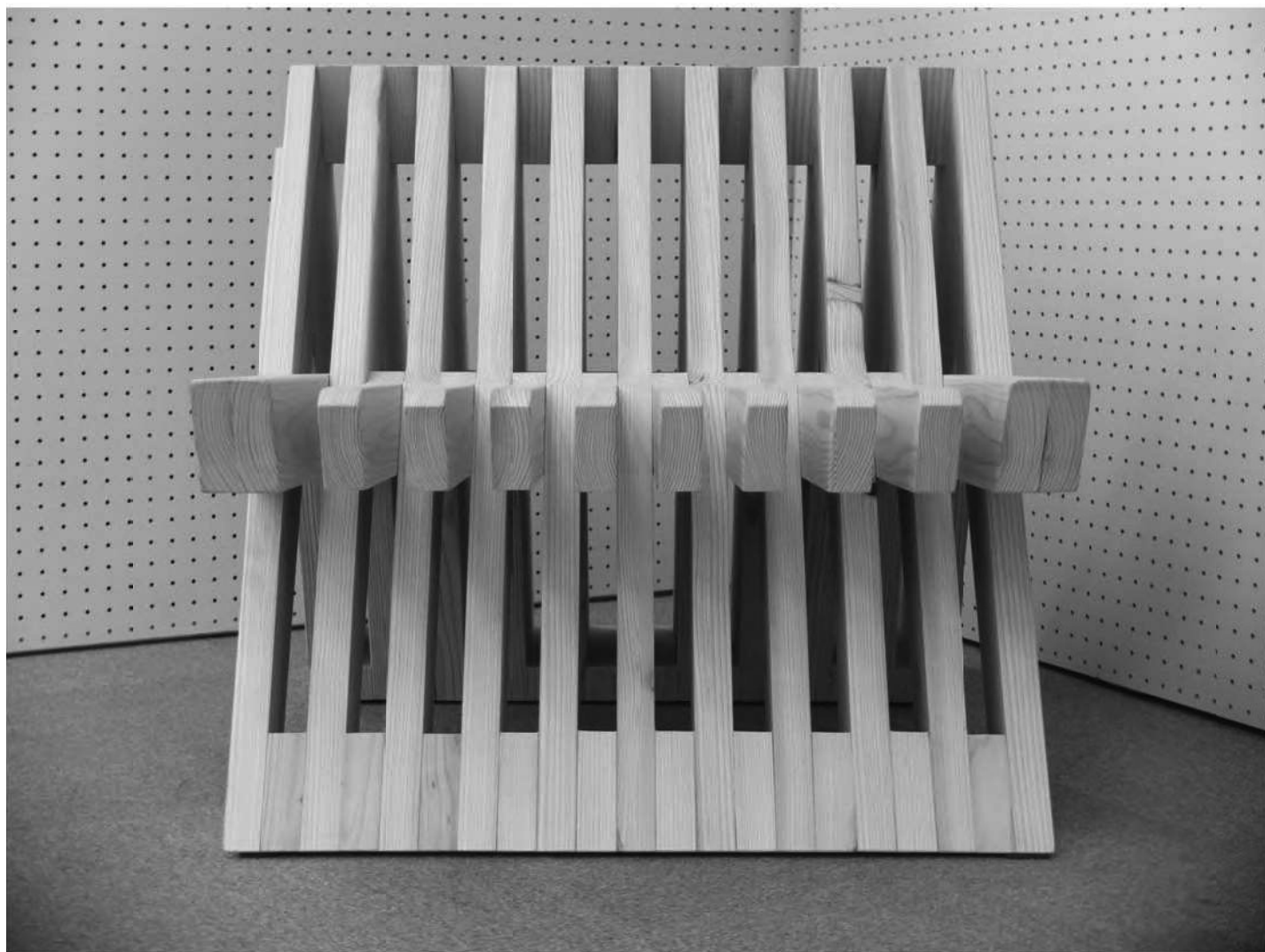
巾 200mm

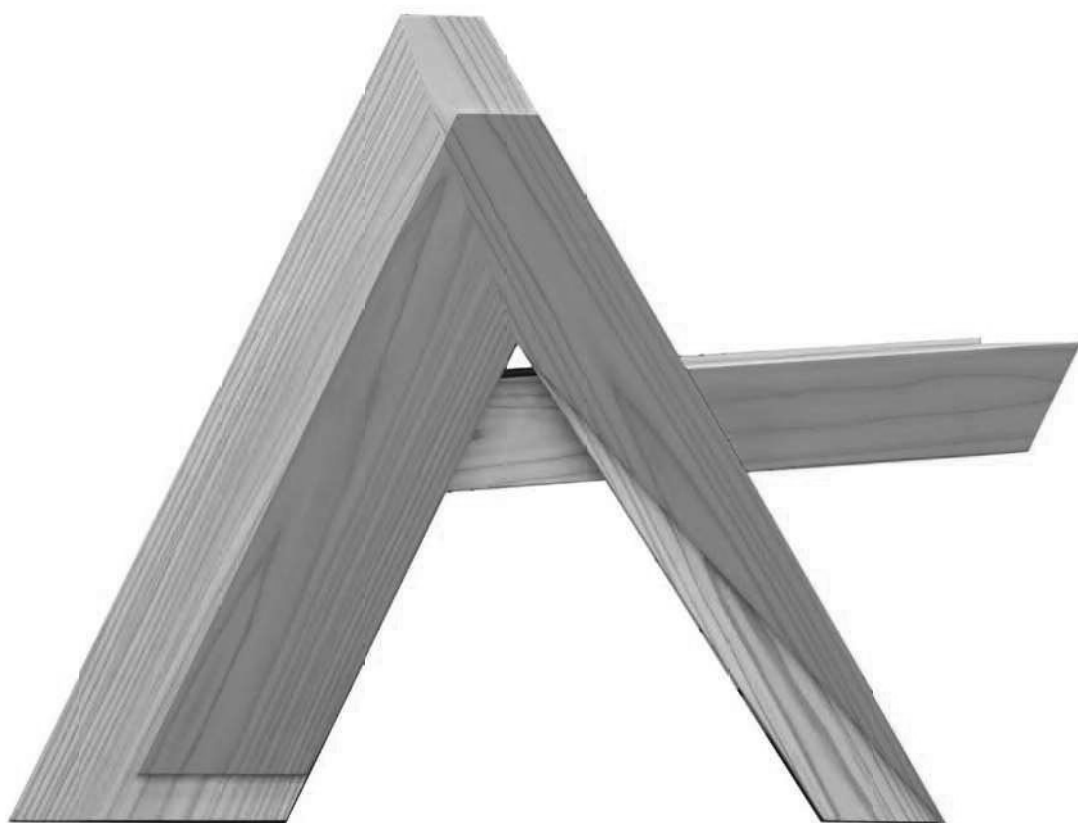
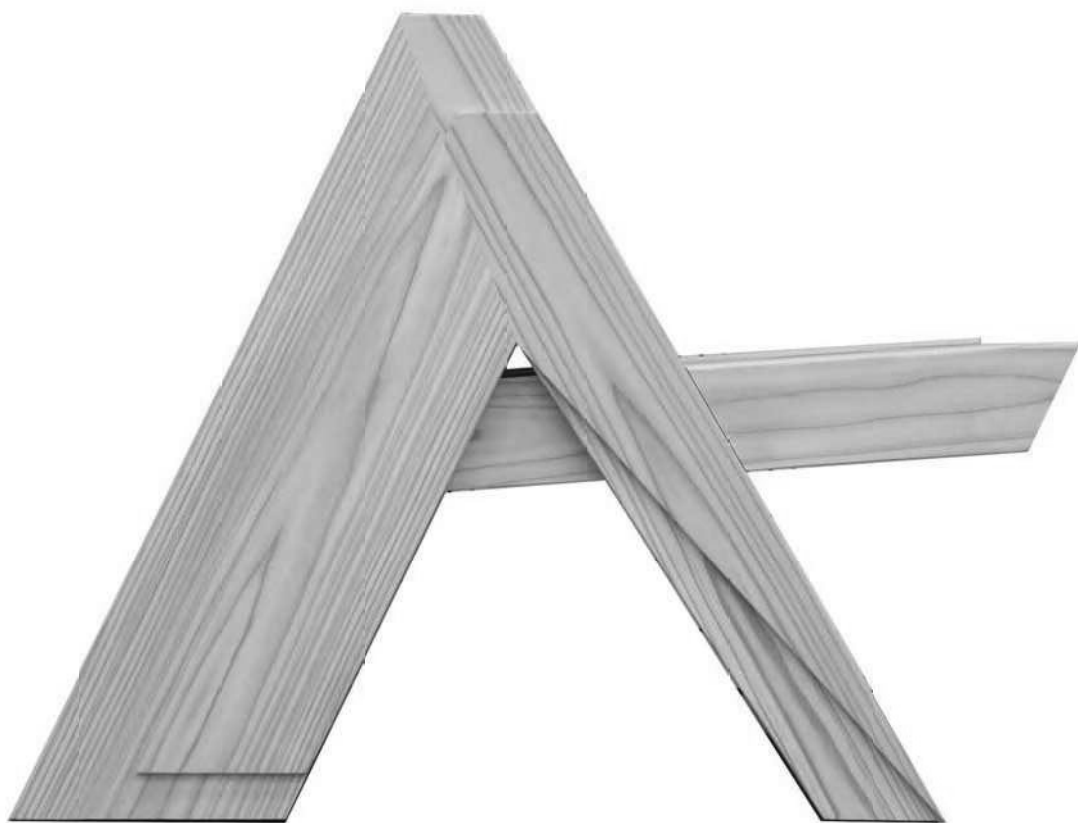


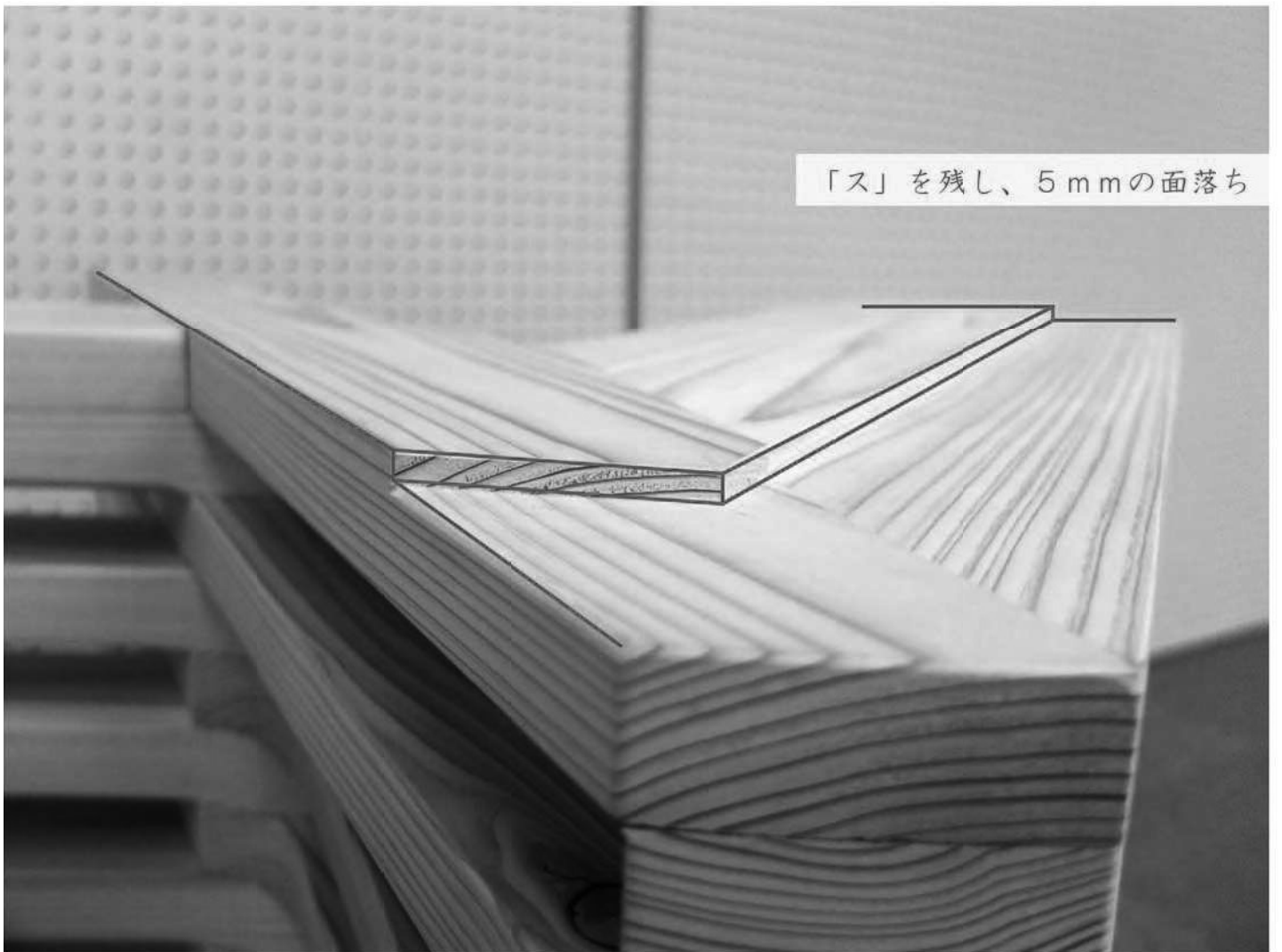
120mm



90mm





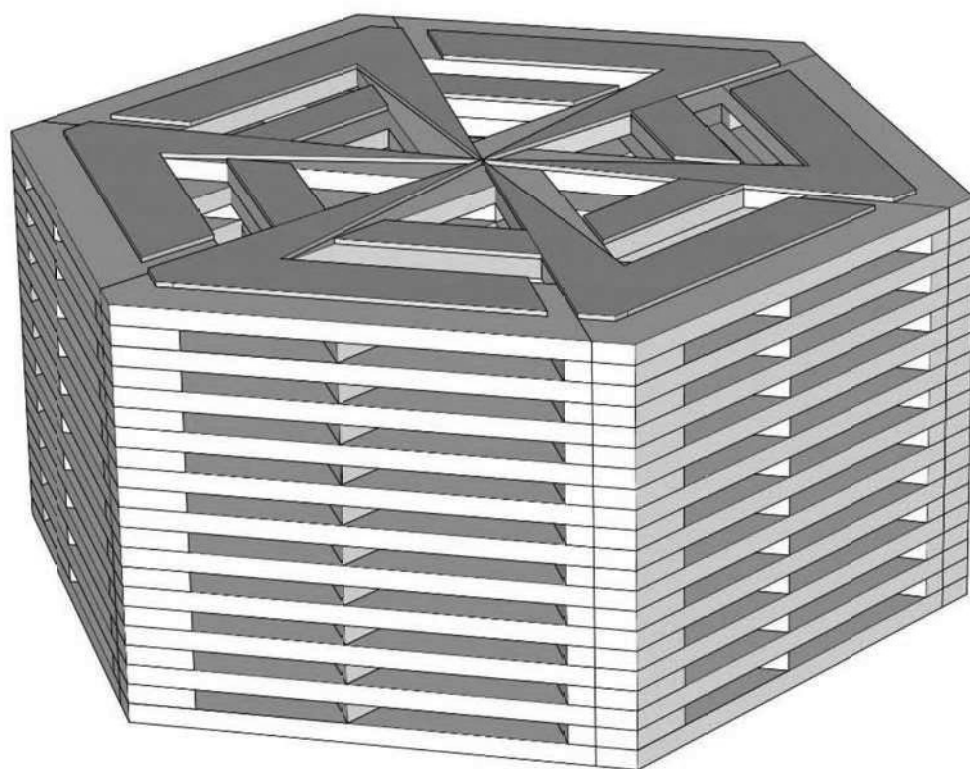


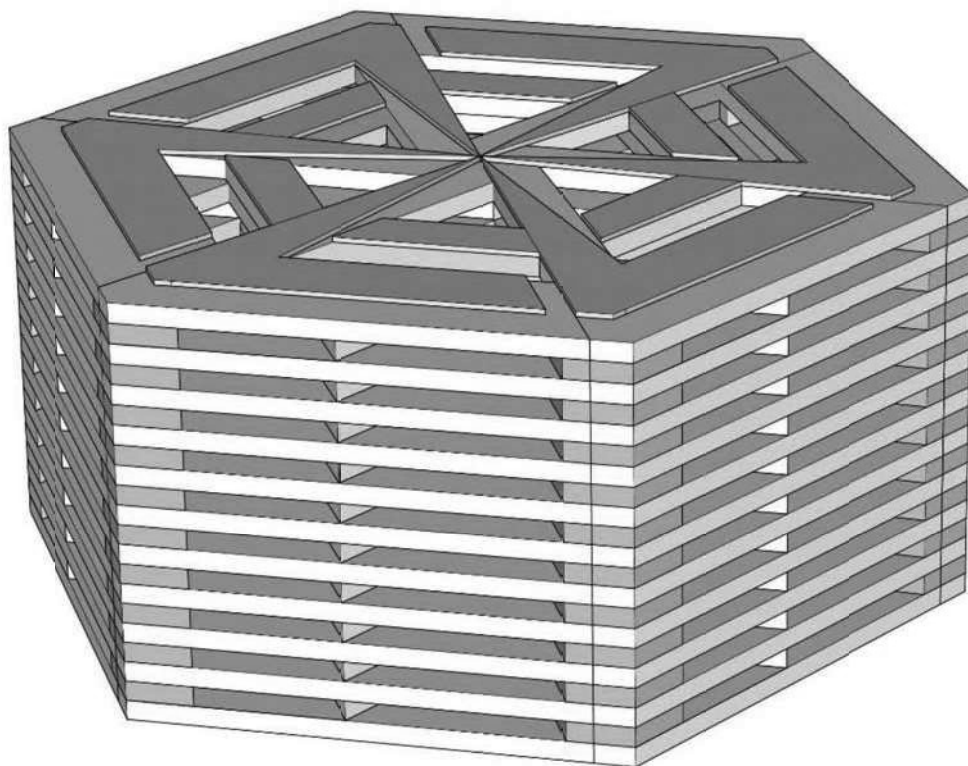


もう一つの座り方



面落ちした箇所が座るきかけとなる





別々のベンチのスペーサーが一体化し、コーナーを美しくおさめる

